



第12回全共鹿児島大会
マスコットキャラクター
かどうしママ

和牛の
オリンピック

第12回 全国和牛能力共進会

和牛フェス in かざしま 2022 まであと一年!!

全国和牛能力共進会って？

5年に一度、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会です。「和牛のオリンピック」とも呼ばれ、全国の和牛関係者にとって、この大会で優秀な成績を収めることは、和牛ブランド力の向上につながることから、最も重要な大会となっています。

開催期間	令和4年10月6日～10日
場 所	鹿児島県霧島市、南九州市
参加規模	全国41道府県から約460頭出品

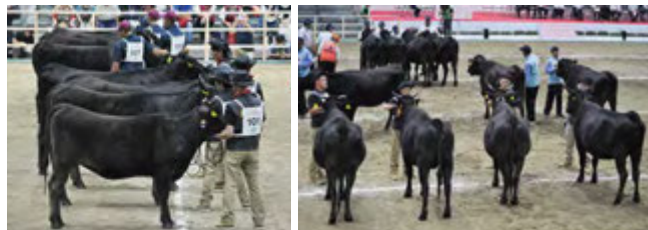


岐阜県からは21頭の牛が出品を予定しています。審査は姿・体型の良さなど、改良の成果を月齢別に審査する「種牛(しゅぎゅう)の部」と、肉量・肉質・美味しさを審査する「肉牛の部」、体型評価に加え、取組み発表を審査する「高校・農業大学校の部」の3部9つの区で行われ、それぞれの区で序列が決定されます。

現在、この大会で他県に負けない牛を出品するために畜産農家の方が日々努力されています。

種牛の部

和牛肉を生産するうえで、父親や母親となる牛を良くしていくことは非常に大切な事です。肉用となる子牛を生産するこれらの牛は種牛(しゅぎゅう)とよばれ、この「種牛の部」では牛の大きさや体型、品位や資質が審査されます。和牛の大きさをそろえていくことも大切なので、出品される牛は大きすぎても小さすぎてもいけません。



平成29年 宮城県大会の様子

<参考：飛騨牛の頭数と海外への輸出量>

飛騨牛認定頭数：9, 727頭(R2年度)

飛騨牛牛肉輸出処理実績：43, 284kg(R2年度)

肉牛の部

どれだけ肉質が良いかが審査されます。肥育(肉にするために飼う事)する期間は通常より短くしなければならないルールがあり、その中で良い肉を生産するには非常に高度な技術が必要になります。

脂肪の質も審査され、見た目だけではなく、美味しい牛肉である必要があります。まさにブランドの威信をかけた戦いになります。



私たちは出品関係者の皆様と飛騨牛に携わる皆様を応援します。
飛騨牛産地の飛騨一体となった応援をお願いします。



高山市長 國島芳明

飛騨牛が鹿児島県大会で日本一になるよう飛騨地域全体で盛り立て、支援していきましょう。



飛騨市長 都竹淳也

目指せ、日本一奪還！生産者の努力に応えるべく飛騨地域一丸となって応援していきましょう。



下呂市長 山内 登

皆さんの飛騨牛ブランド力向上の取組みを応援します。鹿児島県大会出場、目指せ日本一！



白川村長 成原 茂

飛騨牛を一丸となって応援し、鹿児島県大会では、日本一になるよう応援します。



飛騨農協組合長 谷口壽夫

飛騨牛産地の振興と銘柄の更なる飛躍の為、残り一年、共に頑張りましょう。